

（四国地方整備局からのメッセージ）

◆◆◆四国地方整備局トピック 2016. 8. 8◆◆◆

\*\*\*\*\*

8月号では、夏らしく海の話題を3点ほどご紹介いたします。

一つ目は、クルーズ船の就航の動きです。ここ数年、クルーズ船の入港が活発化しております。四国には、昨年37隻のクルーズ船が入港しましたが、今年はずでに28隻（7月末時点）が入港、年内には54隻の入港が予定されております。クルーズ船の入港は、「爆買い」といった一時的な経済効果にとどまらず、外国人旅行者が直接地元を訪れることで、外国人と地元の人との直接交流が始まります。これは、外国人に自慢できる資源は何かを見直し、外国人への接遇をうまくできるのか、外国人がショッピングする際の決済手段に不便はないかなど、大きな刺激を地域にもたらすことにもなります。クルーズ船の入港を地域活性化の材料としてとらえられないでしょうか？

二つ目は、南海トラフ地震津波対策です。本年度高知港海岸事業が採択されました。浦戸湾において、外洋の防波堤、湾口部の防潮堤、湾内部の護岸の3重防護ラインを形成し、津波エネルギーを減衰させて効果的に防護する、世界初の試みです。高知県、高知市と連携し、ハード・ソフトの対策を組み合わせ、早期の防護効果を発現できるよう事業を進めて参ります。また、四国の沖合16kmから18kmに、四国地方整備局はGPS波浪計を3基設置しております。津波の早期検知に役立つものです。現在、波浪情報を気象庁に提供しておりますが、新たに四国の沿岸自治体にも提供できるようにしております。ご関心のある自治体は、港湾空港部港湾空港防災・危機管理課（電話：087-811-8333）にお問い合わせください。

GPS波浪計の概要：

<http://www.pa.skr.mlit.go.jp/general/policy/overview/gps.html>

三つ目は、輸送のモーダルシフトの推進です。トラック運転手の担い手不足が深刻化し、また陸上交通の安全規制が強化されます。四国発着の貨物や、九州と関西以東を結ぶ貨物に対して、海上輸送の効率性が改めて見直されつつあります。四国では、フェリー船舶が就航する複合一貫輸送ターミナルの整備・供用が、徳島小松島港沖洲外地区（平成27年供用）、東予港中央地区（平成30年供用予定）、八幡浜港沖新田地区（平成32年供用予定）において進んでいます。ターミナルの整備に合わせて、大型の新造船の建造・投入も始まっております。特に、経済界にお願いしますが、企業の貨物輸送ルートとして、海上輸送の利用の可能性をぜひ一度ご検討いただければどうでしょうか？

この記事が出るころにはリオデジャネイロ・オリンピックも始まっているかと思えます。アスリートの元気をもらいながら、暑い夏を乗り切っていきましょう。

四国地方整備局

次長 元野 一生

\*\*\*\*\*

■「平成28年度 四国地方整備局管内技術・業務研究発表会」について（報告）

【企画部 企画課】

7月20日、21日の2日間、「平成28年度 四国地方整備局管内技術・業務研究発表会」を高松サンポート合同庁舎にて開催しました。

開会にあたり、名波局長から「発表会を通して組織全体の技術力が向上することが大切」との挨拶がありました。

発表会では、イノベーション部門、アカウンタビリティ部門、一般部門の3部門43題が発表されました。2日間で延べ約500名を超える聴講のもと、全ての発表がつつがなく行われました。発表後には、畠中企画部長（論文審査委員長）からの講評、齋藤次長兼総務部長から優秀論文賞受賞者への表彰状授与及び閉会挨拶で2日間の発表会を締めくくりました。

アイプラザではパネル展「四国地方整備局における災害支援活動等－TEC-FORCEの活動状況－」を開催しました。また、大学等による「技術開発・新技術発表会」が同時開催されました。技術開発の発表では、香川大学・岡崎准教授から「鉄筋腐食の生じたRC部材の残存性能評価手法の構築」、愛媛大学防災情報研究センター二神准教授からは「津波が予想される道の駅からの避難行動アニメーションの作成と提供に関する研究」の発表があり、また、四国地方整備局企画部 湯佐総括技術検査官から「i-Constructionの推進について」の説明がありました。

詳しくはこちらをご覧ください。

<http://www.skr.mlit.go.jp/kikaku/kenkyu/index.html>

\*\*\*\*\*

■国土交通行政関係功労者表彰式について

【総務部 人事課】

7月22日（金）サンポート合同庁舎において、国土交通行政関係功労者表彰式を執り行いました。

式典は13時30分より行われ、最初に名波局長から、河川、海岸、道路関係の功労者に対し感謝状が贈呈されました。

続いて、優良工事、安全工事、優秀建設技術者（工事）、優良業務、優秀貢献業務、優秀建設技術者（業務）の方々に対して表彰状が授与されました。

その後、名波局長から各部門の受賞者の功績に敬意を表するとともに、引き続き国土交通行政の推進に関してご支援、ご協力を求める挨拶がありました。

また、受賞者を代表して住みたくなるまち土器 代表 高畑美嗣様より表彰に対するお礼の挨拶があり、表彰式は滞りなく終了しました。

受賞された個人・団体など詳しくはこちらをご覧ください

\*\*\*\*\*

■ 「海の日」 海事功労者等表彰式について

【港湾空港部 港政課】

平成28年7月19日(火)に、『平成28年「海の日」海事功労者等の表彰式』が高松市内のホテル会場において執り行われました(主催:四国運輸局・四国地方整備局・高松海上保安部)。

当日は表彰される方を始め、関係者約100名余りのご臨席を賜り盛大に挙行されました。

四国地方整備局からは平成28年熊本地震被災地への緊急支援物資輸送の功労など18の個人及び団体の方々に表彰状の伝達及び授与を行いました。

詳しくはこちらをご覧ください

<http://www.skr.mlit.go.jp/pres/h28backnum/kouwan/160715/160715-2.pdf>

\*\*\*\*\*

■ 「生産性革命 by インフラ 第4次重点計画」 パネル展について

【企画部 広域計画課】

国土交通省では、「地方ブロックにおける社会資本整備重点計画」を平成28年3月に策定し、平成28年を「生産性革命元年」としています。四国地方整備局では、将来のインフラ整備によってもたらされる生産性の向上等の多様なストック効果をわかりやすく伝えるためのパネル展を、高松サンポート合同庁舎アイプラザ前通路で、平成28年7月5日から22日まで開催しました。

今後も機会ある度に、インフラ整備によってもたらされる多様なストック効果を広報していきます。

詳しくはこちらをご覧ください

<http://www.skr.mlit.go.jp/kikaku/jyuuten/panel/160706panel.html>

\*\*\*\*\*

■ 夏休みは国営讃岐まんのう公園の「サマーフェスタ」へぜひお越しください

【香川河川国道事務所 公園課】

国営讃岐まんのう公園は、平成25年度に全面開園(350ha)となり、過去3年間は年間50万人以上ものお客様をお迎えしております。

園内では、四季折々の花や草木が鑑賞でき、年間を通じて工作体験や里山体験、イルミネーションなど多くのイベントを行っております。また、ふわふわドームやエックスライダー（長いすべり台）などの遊具や水遊び場などのこども向けの施設に加え、満濃池を眺めながら楽しめるサイクリングやウォーキングは、大人にも人気があり老若男女みなさまが楽しめる公園となっております。

当公園では夏休み期間の7月16日（土）から8月31日（水）まで「サマーフェスタ」を開催します。夏の花としては、10品種7万本のヒマワリが7月下旬～8月中旬に見頃を迎え、今年初登場のコキア（和名：ホウキグサ）は、7月下旬～9月上旬には緑のモコモコした形となり9月中旬～10月中旬には真っ赤な紅葉が楽しめます。

また、8月11日（木・祝）から8月14日（日）の期間行われる「サマーナイトフェスティバル」では、マジックショーやクラフト体験などのイベントを開催するほか、幻想的な光が広がる緑と石のヴィスタや昇竜の滝ライトアップを行います。11日（木・祝）から13日（土）は、公園の夜空に打ちあがる光と音の花火ショーを開催し、普段体験することができない夜の公園を楽しむことができます。

その他、カブトムシが観察できる「森の中のカブトムシランド」、ダンボールなどを使って可愛い動物を作ることができる工作教室などの企画や暑い夏にはうれしい「ドラムの泉広場」での水遊びなど、夏ならではのまんのう公園を満喫することができます。

さらに、自然生態園では、昔ながらの遊びを体験することができるほかボランティアと一緒に園内を散策するガイドウォークなど、多くのイベントを行います。是非、ご来園ください。

\*\*\*\*\*

■ 8月は「道路ふれあい月間」です。8月10日は「道の日」です。

【道路部路政課・道路管理課】

《 道きれい そんな所は 人きれい 》

平成28年度「道路ふれあい月間」推進標語入選作品 一般の部（最優秀賞）  
【H28代表標語】會田 誠一 さん（神奈川県）

国土交通省では、毎年、「道路ふれあい月間」の行事の一環として、改めて道路の役割・重要性について考えていただくことを目的に、広く一般から本月間の推進標語を募集しています。

平成28年度は全国から4,987点の応募があり、本作品が代表標語に選定されました。

● 「道路ふれあい月間」について

「道路ふれあい月間（平成13年度より「道路をまもる月間」から名称変更）」は、8月1日から8月31日までの1箇月間、道路を利用している国民の方々に改めて道路とふれあい、道路の役割及び重要性を再認識していただき、さらには道路をいつくしむという道路愛護活動の推進及び道路の正しい利用の啓発を図り、道路を常に広く、美しく、安全に利用する気運を高めることを目的として、国土交通省が中心になり、昭和33年より毎年実施されています。

道路管理者は、当月間において、より多くの方々が道路の役割及び重要性を十分理  
ページ(4)

解し、自主的かつ積極的に各種運動に参画していただけるよう努めることとしています。

●「道の日」について

道路は、国民経済を支え、国民生活を維持するために欠くことのできない基本的な社会資本施設ですが、あまりにも身近な存在であるため、その重要性が見過ごされがちです。そこで、道路の意義・重要性について、国民の皆様に関心をもつていただくことを目的として、昭和61年に8月10日を「道の日」に選定しました。

8月10日を選定した理由は、大正9年8月10日に、我が国で最初の道路整備についての長期計画である第1次道路改良計画が実施されたことと、8月1日～31日が「道路をまもる月間（現在の「道路ふれあい月間）」の期間中であったこと、などによります。

\*\*\*\*\*

■海岸清掃活動「リフレッシュ瀬戸内」について

【港湾空港部 港湾物流企画室】

「リフレッシュ瀬戸内」は、瀬戸内沿岸の107市町村、11府県、国土交通省の9つの機関で構成する『瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会（通称：海ネット）』が平成5年度より始めた瀬戸内海沿岸の海岸清掃の取り組みです。平成28年度は「受け継ごうきれいで豊かな瀬戸の海」を合言葉に、6月から8月にかけて289カ所で開催される予定です。すでに多くの市民ボランティアや地域の方々にご参加を頂きまして海岸の美化に貢献しています。

また、リフレッシュ瀬戸内の開催地域において、捨てられたゴミの組成を調べる「海の健康診断調査」を実施しています。海岸ゴミの実態を調査して、定期的にデータを蓄積し、その結果を公表することでゴミの排出抑制につなげてまいります。

■リフレッシュ瀬戸内の概要

実施時期：平成28年6月1日～平成28年8月31日

実施箇所：瀬戸内海沿岸各地

開催予定地数：瀬戸内海沿岸各地289カ所で開催予定（近畿中国九州を含む）

\*\*\*\*\*

■「四国8の字ネットワーク」の延伸に向け整備推進  
（4月23日 なんこく南～高知龍馬空港IC間 供用開始）

【土佐国道事務所】

土佐国道事務所は、「四国8の字ネットワーク」の形成を目的とした“高知東部自  
ページ(5)

自動車道(高知南国道路・南国安芸道路)及び阿南安芸自動車道(安芸道路等)」、いの町内の交通混雑の緩和等を目的とした“高知西バイパス”、災害に強い道路の確保を目的とした板木野防災、橋防災及び越知道路などの整備を進めています。

なかでも、広域交流を支援するとともに緊急時の輸送路としてのネットワーク機能を確保するために「四国8の字ネットワーク」の延伸を重点的に進めています。

高知南国道路は、平成27年3月に高知南～なんこく南IC間4.7kmを、平成28年4月になんこく南～高知龍馬空港IC間4.1kmの供用を開始し、並行する国道の渋滞緩和や高知龍馬空港へアクセス向上の効果が現れているところです。残る高知JCT～高知南IC間については平成32年度の開通に向け工事を進めています。

南国安芸道路は、平成26年3月までに香南のいち～芸西西IC間9kmの供用を開始し、続く高知龍馬空港～香南のいちIC間の工事等を進めています。

さらに、南国安芸道路の芸西西～安芸西IC(仮称)間8.5km及び阿南安芸自動車道の安芸道路5.8kmについても、設計協議や用地買収を進めています。

\*\*\*\*\*

## ■全国一斉社会実験 水辺関心創造アクション「水辺で乾杯」

【河川部 河川管理課】

国土交通省では「ミズベリング・プロジェクト」の一環として、かつての賑わいを失ってしまった日本の水辺の新しい活用の可能性を創造していくため、水辺に対する社会の関心を高め、様々な立場からの参画を得るための取り組みを推進しています。昨年度に引き続き、今年も7月7日は、七夕の夜を水辺で楽しむため「水辺で乾杯(MIZCAN)」を実施しました。

このイベントは、全国一斉社会実験と称して、

- ・水辺の楽しさ、美しさ、優雅さ、風流さ、静けさなどを改めて感じ取ってもらおう。
- ・水辺でなにが出来るのか、何が出来そうなのか、具体的なイメージを感じ取ってもらおう。
- ・今ひとつ躊躇しがちな水辺の活性化に、具体的なアクションを加えよう。

という趣旨で企画されています。

水辺に人が集い、日常の風景を少し変えてみるシンプルなプログラムです。

今年も四国内各地でイベントが行われ、四国地方整備局だけでも300人を超える参加者となりました。

今後も、水辺に対する社会の関心を高めるため、様々なイベントに積極的に取り組んでいく予定です。

<http://mizbering.jp/>

\*\*\*\*\*

四国地方整備局HP

<http://www.skr.mlit.go.jp/>

いきいき四国通信Vol.78（配信版）.txt

\*\*\*\*\*

「いきいき四国通信」に関するご意見等がありましたら、下記メールアドレスまでお寄せ下さい。

mailto:skr-seibikyoku@mlit.go.jp

《平成27年2月からメールアドレスが変わりました》

\*\*\*\*\*「いきいき四国通信」事務局\*\*\*\*\*

「いきいき四国通信」の配信中止・配信先変更のご希望がありましたら、事務局までFAXまたはメールにてご連絡頂きますようお願いいたします。

国土交通省 四国地方整備局 企画部  
【担当】新名、篠崎

FAX(087)811-8408

mailto:skr-seibikyoku@mlit.go.jp